

～国際リニアコライダー（ILC）に向けて～

外国人が安心して受診できる医療環境を目指す

平成27年地域政策研究センター(地域提案型・前期) 採択課題

課題名：「ILC建設に伴う外国人の医療環境整備へ向けた取組に関する研究」
研究代表者：盛岡短期大学部 教授 石橋敬太郎
課題提案者：岩手県政策地域部科学ILC推進室
研究メンバー：佐々木淳、宮昌隆、佐藤智行（岩手県政策地域部科学ILC推進室）、吉原秋、熊本早苗（盛岡短期大学部）、細越久美子（社会福祉学部）、蛎崎奈津子、アンガホッフア司寿子（看護学部）、
技術キーワード：多文化共生、ILC、医療通訳、外国人向け医療情報、多言語化

▼研究の概要（背景・目標）

地域の国際化を推進する上で、本研究では外国人の医療環境の整備に向けた課題の整理及びどのような取組をするべきか具体化を図ることを目的とする。すなわち、岩手県の医療機関が「医療通訳等の拠点整備事業」といった国の制度に該当していない現状を踏まえて、岩手県内に居住する外国人を対象に、在住外国人が求める支援等を明らかにすることを目的とし、ア.医療通訳派遣システム イ.外国人向け医療情報の検討 ウ.医療機関・緊急医療・薬局等の多言語化について焦点化して検討し、課題を整理することとした。

▼研究の内容（方法・経過等）

1. 調査対象者は11人で、岩手県ないし日本に5年以上滞在していた。
2. 対象者は、配偶者などの支えがあり、日本での生活及びコミュニケーションにさほど支障のない人たちであった。
3. 2015年12月から2016年2月にかけて、岩手県内に居住する外国人のもとに赴き、直接聞き取りを行い、回答を得た。

▼これまで得られた研究の成果

ア. 医療通訳派遣システムの検討

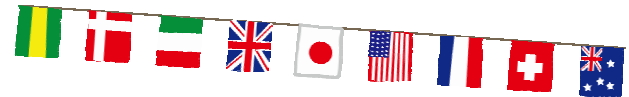
外国語で表記された問診票（図1）を見たことがある、あるいは使ったことがあると回答した外国人は3人と少なかった。また誤診を避けるためには、外国語を話せる医師、看護師が必要であるが、それに代わる体制として、医療の専門分野に詳しいプロの通訳者を病院等に常駐させるか、事前予約で派遣できる体制が望ましい。その際には、患者の求めに応じて、診察室内だけでなく、受付から診察、会計までの一連の過程の間付き添うことが望ましい（図2）。

イ. 外国人向け医療情報の検討

医師などが患者に対して擬音語を避ける、ゆっくりと話す、紙に書く、病状・治療・処方箋などについて丁寧な説明をするといった言語上の問題を解決することが必要となる。あわせて、外国人のもつ医療文化を医療機関が理解することが重要である。

ウ. 医療機関・緊急医療・薬局等の多言語化

患者は病院ではなく、ドラッグストアで一般市販薬を購入し、治療する文化であることを認識しなければならない。その対応策の一つとして、多言語対応はもちろんのこと、薬の選択、医師の性別、事前説明の徹底等の配慮がなされることが望ましい。



Forma ng mga Katanungang Pang-medikal Questionnaire Form
問診票 (タガログ語版)

Pangalan 名前	kapanganakan 生年月日
Ton 年 buwan 月 araw 日 (edad 才)	
Tirahan 住所	Kasarian 性別
Numero ng Telepono 電話番号	<input type="checkbox"/> Lalaki 男 <input type="checkbox"/> Babae 女
May pang-kalusugang seguro (health insurance) kaba? 医療保険を持っていますか	Nasyunalidad 国籍
<input type="checkbox"/> Wala 無い <input type="checkbox"/> Meron 有る	

◆ Napaano po ba kayo? どうしましたか

<input type="checkbox"/> May lagnat (熱がある)	<input type="checkbox"/> Masakit ang ulo (頭痛)
<input type="checkbox"/> Ingay sa tenga (耳鳴り)	<input type="checkbox"/> Sinisipon (骨节痛)
<input type="checkbox"/> Namadong ibong (鼻づまり)	<input type="checkbox"/> Naisusuyok ang bibig (口が奥く)
<input type="checkbox"/> Ibo (喉痛)	<input type="checkbox"/> Sumasakit ang lalamunan (のどの痛み)
<input type="checkbox"/> May dugong plema (血痰)	<input type="checkbox"/> Plema (sipon sa lalamunan) (痰)
<input type="checkbox"/> Masakit ang dibdib (胸痛)	<input type="checkbox"/> Mabiko/malakis ang pingit ng puso (動悸)
<input type="checkbox"/> Masikip na sakit sa dibdib (鼻がしめつけられる)	<input type="checkbox"/> Nahihihipog/humuga (鼻が苦しい)
<input type="checkbox"/> Isig ng paghinga (息切れ)	<input type="checkbox"/> Tumutungong paghinga (ぜいぜい/ヒューヒュー)
<input type="checkbox"/> Masakit ang likod (腰痛)	<input type="checkbox"/> Payosis (Heartburn) (酸やけ)
<input type="checkbox"/> Dighay (げっぷ)	<input type="checkbox"/> Naduduwal (吹き返)
<input type="checkbox"/> Nag-uusok (嘔吐)	

*Pakingnan ng marka ang parte lung nanan
その患所に丸印を付けてください

図1. 岩手県の多言語問診票(タガログ語版)

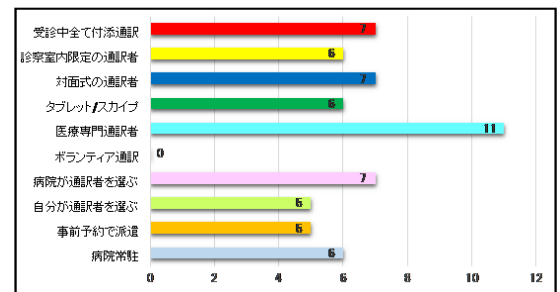


図2. 外国人が希望する医療通訳サービス

▼今後の具体的な展開

1. 本調査研究の過程において、外国人女性の出産と夜間や休日の救急対応が多い子どもの受診の際の医療環境の整備は、家族が安心して暮らす上で欠かすことができないことが明らかになった。
2. 子どもの受診には、急を要する対応が検討される状況が予測され、そのため家庭の中での外国人女性の果たす役割が大きく、言葉の問題のほか、医療文化の違いが誤診等を招く機会をはらんでいる。
3. 今後はこれらの課題を解決すべく、外国人女性の出産と子どもの受診に対する医療環境整備のための研究を実施する。

(謝辞) 調査実施に当たり、年度末間際のお忙しいさなか、快く調査研究にご協力くださった国際交流協会の職員の皆様、ゆうの会の皆様、外国人の皆様、外国人の皆様に心から感謝申し上げます。